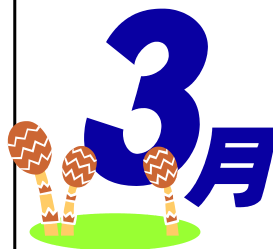


川崎市立旭町小学校 学校だより (学校評価臨時号)

# あさひこ

令和7 (2025)年3月7日



学校目標

あ 明るく元気な子  
さ 最後までがんばる子  
ひ 人のためにつくす子  
こ 心やさしい子

## 令和7年度の学校教育に向けて

校長 添野 雅美

今年度も本校の教育活動にご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちのアンケートの結果について、学校ウェブサイトに掲載しております。3月7日(金)の学校報告会でも、一部になりますが、令和7年度に向けた学校教育と今後の見通しなどについてお伝えします。

### 【アンケート結果から】

低学年:多くの物事を肯定的に捉えている割合が多く見られました。特に「自分や友達のいいところを言えます、自分のできることを頑張ってみようとしています」「一人である時に、火事や地震があったら、どうしたらいいかわかります」では多くの子どもたちが「よくわかります、少しわかります」と答えていますが、「全然ありません、わかりません」と答えている子もいます。主体的な学びや行動をしていくには、自己肯定感や自己有用感が大切です。学校では行事や学習の振り返りを大切に、それぞれの子どもの成長に気付かせていきます。学校以外の場所で被災した時の約束については、ご家庭での話し合いをお願いします。学校でも避難訓練等に引き続き取り組んでまいります。


中学年:多くの項目で「よくできます」と回答する割合が増えています。四件法で「よくできます」とはっきり言えるのは、1年間で自信をもつことができた場面があったからだと考えます。「たまに」と答えているのは「まだまだ、もっとできる」と目標を高くもっているとも考えられます。どの子も一人一人に回答の理由があると捉え、価値付けていきたいと思えます。また自信がもてない子への支援を継続します。ここでも振り返りを大切にしていきます。

高学年:高学年では「相手の気持ちを考える・伝える」「助け合う」「人との接し方」等で肯定的な回答の割合が高くなっています。このような項目をアンケートに入れているのは、このような力がこれからの「先行きが不透明で将来の予測が困難な社会」において生きていくために重要だと考えられているからで、これに対して子どもたちが「できている」と感じているのは喜ばしいことです。旭町小学校のめざす子ども像である、「あさひこ」にもつながる内容ですので、これからも大切にしていきたいと思えます。

あさひこアンケートは、子どもたちが学習や生活、人との関わり方について、どのように感じているかを把握するものです。結果をもとに、学校でどのような教育活動を実施することが子どもたちの意欲を育て、また、力をつけていくことになるかを検討し、改善策を考え、実施していきます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

後期の子どもたちのアンケート結果は、  
旭町小学校学校ホームページに掲載  
しております。

QRコードを読み取り、  
「学校概要→学校評価」からご覧ください。

旭町小学校ホームページQRコード 



今年度も、旭町小学校の教育活動へのご理解とご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。地域の皆様、保護者の皆様のお力添えを来年度もよろしくお願いいたします。